

研究課題 (テーマ)		研究教育成果の情報発信に向けた環境整備の取り組み	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	情報システム工学科	講師	西原 功
	情報システム工学科	准教授	中田崇行
	知能ロボット工学科	准教授	増田寛之
	電気電子工学科	准教授	藤井 正
	電気電子工学科	准教授	小島千昭
	電気電子工学科	助教	大倉裕貴
	機械システム工学科	准教授	岡村茂樹
研究結果の概要			
<p>学内での研究教育成果の情報発信に向けた環境整備として、今年度取り組んだ6テーマ全てについて、それぞれ実施しました。以下にそれぞれの詳細を示します。</p> <p>(1) 高精度キャリブレーションによる大型高精細裸眼立体視ディスプレイの構築 常時展示している大型裸眼立体視ディスプレイにおいて、従来の4倍細かい最新の8Kディスプレイに更新し、より高精細な展示を実現しました。</p> <p>(2) ロボットによる研究・教育成果のPR動画制作 研究室で開発している3体のロボットを用いて、ロボット目線でキャンパス内を紹介するPRビデオを制作し、高校生向け特設サイト、大学公式SNS等で公開しました。</p> <p>(3) 電気電子工学科の研究活動アピールに向けたコンテンツの作成 学科内各研究室の研究情報発信を進めるため、統一規格でポスターパネルを作成して研究室近辺に掲示し、同一内容を学科HPでも公開しました。</p> <p>(4) 機械システム工学科の研究教育力のさらなるアピールに向けた配信コンテンツの拡充 コンテンツに関連した動画の素材準備を進めました。中央棟の地下に設置されている免震装置の動画を作成し、ダヴィンチ祭にて免震技術についてオンデマンドで配信しました。</p> <p>(5) 県立大学生間のオンライン上での活発な交流のためのWebコンテンツ作成 プレゼンテーション・ディベートサークル(PDC)の活動として、対面での交流の制限下でも学生間で情報共有できるWebコンテンツ「新入生応援対談企画」を作成しました。</p> <p>(6) 学内プロジェクションインタラクション設備のさらなる魅力増進に向けて ハードウェアを購入し、インタラクション設備を更新しました。R4年6月に予定する工事を経て、新ハードウェアのコンテンツとともに、R4年度ダヴィンチ祭までの稼働を図ります。</p>			
今後の展開			
<p>概要に示した6テーマそれぞれについての今後の展開予定です。特に、○△×の表示は、次年度に継続する必要可能性を示します。(継続したい○：△：×継続しない)</p> <p>(1) ×：現時点での最新ディスプレイ使用により、今後数年は更新の必要がなくなりました。</p> <p>(2) ○：毎年度、最新のコンテンツを連載していく必要があります。</p> <p>(3) ○：引き続き、動画コンテンツの作成が必要です。</p> <p>(4) △：引き続き、動画コンテンツの収集・充実を進めます。</p> <p>(5) ×：PDCは解散となり、今後の更新の必要はなくなりました。</p> <p>(6) △：より分かりやすい、良い展示方法を検討し、それに向けた改善を引き続き進めます。</p>			

